交通政策調査特別委員会　案件一覧

（令和８年 10 月 19 日開催分）

○所管事務報告　２件

部局	報告順	件　　名	資料番号	説明者（所管課長名等）
まちづくり推進部	1	大田区コミュニティバス矢口地域運行事業実施状況報告について（令和８年度上半期）	5	戸塚　公共交通・臨海部担当課長
都市基盤整備部	2	自転車駐車場における原動機付自転車（第二種）受入れ試行の実施について	2	厚川　都市基盤計画調整担当課長

交通政策調査特別委員会
令和8年10月19日

まちづくり推進部　資料5番
所管　都市計画課

大田区コミュニティバス矢口地域運行事業実施状況報告（令和8年度上半期）

表1　令和8年度上半期実績

	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1　運行日数	日	30	31	30	31	31	30	183
2　運行便数	便	540	558	540	558	558	540	3,294
3　令和7年度利用者	人	5,232	5,213	5,788	6,685	7,005	6,378	36,301
4　令和8年度利用者		5,689	4,985	4,983	6,597	6,381	5,945	34,580
5　増減人数（利用者）		457	−228	−805	−88	−624	−433	−1,721
6　対前年度同月比（利用者）	%	8.7	−4.4	−13.9	−1.3	−8.9	−6.8	***−4.7%***
7　対平成30年度同月比（利用者）	%	5.9%	−7.9%	−11.3%	−20.2%	−13.4%	−8.9%	−10.3%
8　令和7年度収入状況	円	696,405	694,221	766,740	890,342	934,557	851,043	4,833,308
9　令和8年度収入状況		875,949	800,194	808,207	1,069,802	1,045,726	980,634	5,580,512
10　増減額（収入状況）		179,544	105,973	41,467	179,460	111,169	129,591	747,204
11　対前年度同月比（収入状況）	%	25.8	15.3	5.4	20.2	11.9	15.2	***15.5%***
12　対平成30年度同月比（収入状況）	%	35.7%	23.0%	19.1%	8.7%	18.3%	23.6%	20.4%

表2　同月利用者の推移

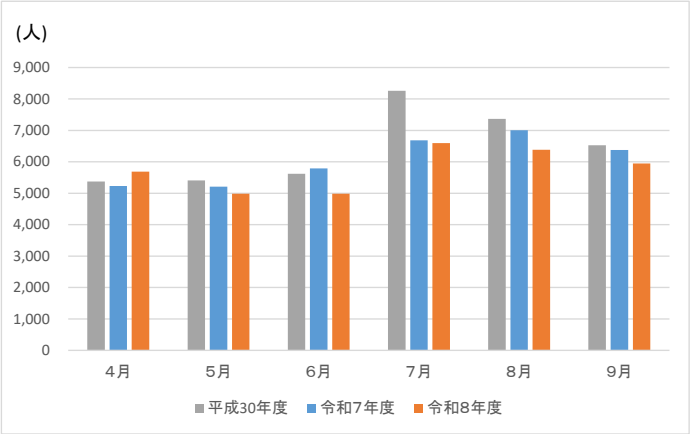


表3　平成21年度からの利用者の推移

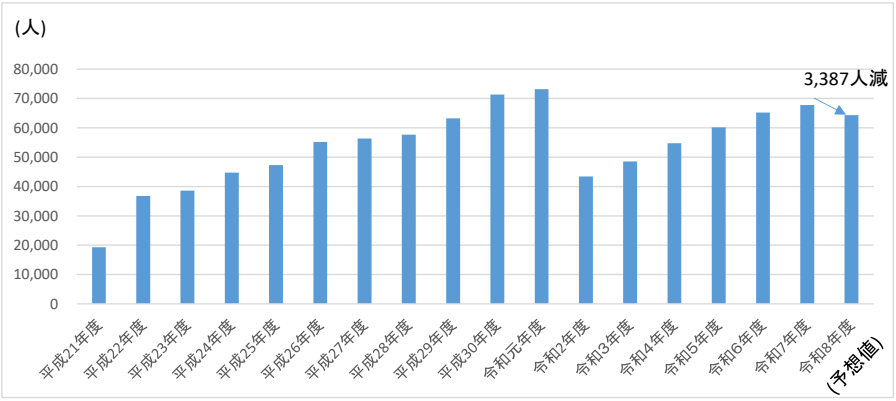


表4　上半期の対前年度比増加率による年間実績予測

令和7年度年間実績	
利用者数	67,744人
①運行収入	¥　8,982,673
②広告収入等※1	¥　320,500
収入合計 ①+②	¥　9,303,173
事業費	¥　22,389,774
収支率 （収入/事業費）	41.6%

※1 東京都燃料費高騰緊急対策事業支援金を含む

上半期実績傾向より
利用者が−4.7%
減少し
運行収入が15.5%
増加すると

令和8年度年間実績（予測）	
利用者数　※2	64,357人
①運行収入　※3	¥　10,330,074
②広告収入等※4	¥　402,500
収入合計 ①+②	¥　10,732,574
事業費	¥　22,000,000
収支率 （収入/事業費）	48.8%

※2　R8年度実績予測（人）＝R7年度実績（人）×（1+R8年度上半期対前年度比増加率）

※3　R8年度実績予測（円）＝R7年度実績（円）×（1+R8年度上半期対前年度比増加率）

※4 たまちゃんバス応援寄付金による収入を含む

交通政策調査特別委員会 令和8年 10 月 19 日
都市基盤整備部　資料2番
所管　都市基盤管理課

自転車駐車場における原動機付自転車（第二種）受入れ試行の実施について

区では、これまで一部の自転車駐車場において原動機付自転車（第一種）の受入を行ってきたが、道路交通法等の改正に伴う新原動機付自転車（新原付）の導入や、国土交通省からの受入促進に向けた要請等を背景として、二輪車の利用環境を取り巻く状況が変化している。

これら社会情勢の変化や区民ニーズに対応するため、区内２箇所の自転車駐車場において、対象車種を原動機付自転車（第二種）まで拡大する試行事業を実施し、利用状況や安全性、運用上の課題等を検証していくこととする。

１　実施概要

（１）試行実施期間　　令和８年９月８日～ 令和９年８月 31 日まで（予定）

（２）対象施設（区内２箇所（案内図参照））

・大森駅入新井自転車駐車場（大田区大森北 4-27、大森北 1-39（公園側）

・蒲田駅東口陸橋下自転車駐車場（大田区蒲田五丁目 13 番先）

（３）対象車両

原動機付自転車（第二種）

〔総排気量 50cc 超 125cc 以下 / 定格出力 0.6kW 超 1.0kW 以下〕

※前長 2.0m以内、全幅 0.8m以内の自動二輪に限る。

（４）試行における検証内容

・利用需要および利用状況の把握

・出入り時の安全性および場内での取り回し・事故リスクの検証

・他の利用（自転車・原付一種）への影響および混雑状況の把握

・料金体系および受付運用方法の確認

２　今後のスケジュール（予定）

令和８年９月：試行運用開始

令和９年３月：利用実績・課題の検証および見直し検討

【案内図】



